

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成22年12月24日(2010.12.24)

【公表番号】特表2010-512781(P2010-512781A)

【公表日】平成22年4月30日(2010.4.30)

【年通号数】公開・登録公報2010-017

【出願番号】特願2009-542395(P2009-542395)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
C 0 7 K	14/71	(2006.01)
C 0 7 K	16/28	(2006.01)
C 1 2 Q	1/68	(2006.01)
C 1 2 Q	1/02	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	3/10	(2006.01)
A 6 1 P	9/12	(2006.01)
A 6 1 P	15/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	9/00	(2006.01)
A 6 1 P	27/02	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/7105	(2006.01)
A 6 1 K	31/711	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
G 0 1 N	33/53	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
C 0 7 K	14/71	
C 0 7 K	16/28	
C 1 2 Q	1/68	A
C 1 2 Q	1/02	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 P	3/10	
A 6 1 P	9/12	
A 6 1 P	15/00	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	9/00	
A 6 1 P	27/02	
A 6 1 K	37/02	
A 6 1 K	31/7105	
A 6 1 K	31/711	
A 6 1 K	39/395	D
G 0 1 N	33/53	D
G 0 1 N	33/53	M

【手続補正書】

【提出日】平成22年11月4日(2010.11.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

s F 1 t - 1 (配列番号9または配列番号10)ではなく、s F 1 t - 1 4 (配列番号1または配列番号2)を認識する作用因を使用して、s F 1 t - 1 4 (配列番号1または配列番号2)の発現レベルを対象の生物学的サンプルにおいて検出することを含む、母体または胎児のストレスに関連する妊娠関連の医学的状態をその必要性のある対象において診断する方法であって、所定の閾値を超える前記s F 1 t - 1 4の発現レベルにより、母体または胎児のストレスに関連する妊娠関連の医学的状態が示される方法。

【請求項2】

s F 1 t - 1 4 (配列番号1または配列番号2)の発現レベルを生物学的サンプルにおいて検出することを含む、母体または胎児のストレスに関連する妊娠関連の医学的状態をその必要性のある対象において診断する方法であって、前記生物学的サンプルは妊娠第13週以降の生物学的サンプルであり、また、所定の閾値を超える前記s F 1 t - 1 4の発現レベルにより、母体または胎児のストレスに関連する妊娠関連の医学的状態が示される方法。

【請求項3】

前記状態は、子癪前症、妊娠性糖尿病、妊娠性高血圧、胎児成長制限(F G R)、および胎児アルコール症候群(F A S)からなる群から選択される、請求項1または2に記載の方法。

【請求項4】

生物学的サンプルは、尿サンプル、血液サンプル、血清サンプル、胎盤生検物、絨毛膜絨毛サンプル、および羊水サンプルからなる群から選択される、請求項1または2に記載の方法。